

會務報告

第26卷第3號 昭和15年2月

役員會

第20回理事會 (昭. 14. 12. 26.)

出席者： 八田會長，堀越，谷口兩副會長，山崎，高橋，稻葉，和田各理事，中村書記長，小野寺庶務主任，朝倉會計主任

議事

1. 陸軍造兵廠大阪工廠播磨製造所へ土木學會誌第25卷第12號より寄贈することとせり。
2. 東北支部昭和15年度收支豫算を別紙(省略)の通り承認することとせり。
3. 關西支部昭和15年度收支豫算を別紙(省略)の通り承認することとせり。
4. 本部昭和15年度收支豫算を別紙(省略)の通り承認することとせり。
5. 昭和15年度中新に入會したる者に對し入會金の納付を免除することとし通常總會に提案することとせり。
6. 第4回日本工學大會に於ける土木學會懇親晚餐會を4月4日開催することとせり。
7. 土木學會誌の印刷料値上げを三秀舎申入れの通り承認することとせり。但し會誌1冊當りの單價は前年度の價額を維持することとし増額せざること。
8. 會員數増加の現状に鑑み常議員を4名増員し24名とすることとし之に依る定款の改正を通常總會に提案することとせり。
9. 部の改廢に關しては次回更に協議することとせり。
10. 豫て三秀舎より請求ありたる大東京高速鐵道調査報告書の組版代642圓03錢は組版證據書類の提出ありたるを以て之を支拂ふこととせり。但し此の代金は25周年記念事業資金として寄附を受くること。

11. 入退會の件別紙の通り承認せり。

第21回理事會 (昭. 15. 1. 10.)

出席者： 谷口副會長，山崎，和田，稻葉各理事，坂田滿洲國交通部技監，中村書記長，小野寺庶務主任，朝倉會計主任，糸川編輯主任

報告

1. 25周年記念事業資金調達委員會委員長より資

金調達の結果を別表(省略)にて報告ありたり。

2. 日本工學會臨時評議員會議事

議事

1. 東北支部長改選の結果金森誠之君當選せられたるに就き依屬することとせり。
2. 中部支部より提議ありたるセメントの増産並に配給の圓滑に關する建議の件は可成的速に理事及セメント關係者(人選は和田，稻葉理事，中村書記長に於て爲すこと)に依る協議會を開き具體的に意見を取纏め適宜の措置を構ずることとせり。
3. 日本工學會定款及規則の改正に關する臨時社員總會に會長代理として和田理事出席することとせり。
4. 通常總會の開催日時，場所並に總會順序及議案を次の如く決定せり。

開催日時 昭和15年2月15日(木曜日)午後5時

場所 帝國鐵道協會

總會順序及議案

1. 昭和14年度事業報告
 2. 同 決算報告
 3. 役員選舉の結果報告並に紹介
 4. 定款一部改正の件(別紙)
 5. 特定期間中入會金免除の件(別紙)
 6. 昭和14年度土木賞牌の贈呈
 7. 會長講演
- 以上
總會終了後有志晩餐會開催(會費2圓50錢)

議案第4 土木學會定款改正=關スル件：一

土木學會定款ノ一部ヲ次ノ如ク改正ス

第18條第5項

「4. 常議員 24名」

第32條

「常議員會ハ會長ニ於テ必要ト認メタルトキ又ハ常議員8名以上ヨリ會議ノ目的タル事項ヲ示シ請求アリタルトキ之ヲ開ク」

第41條 昭和15年ノ通常總會ニ於テ決議シタル定

款變更ニ基キ増員セラルベキ常議員4名ノ

選舉ハ昭和16年1月之ヲ施行スルモノト

ス

第42條 選舉セラレタル4名ノ常議員中抽籤ヲ以

テ定メタル2名ノ任期ヲ昭和17年ノ通常

總會迄トス

参考 現行土木學會定款抜萃

第 18 條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- | | |
|----------|------|
| 1. 會 長 | 1 名 |
| 2. 副 會 長 | 2 名 |
| 3. 理 事 | 9 名 |
| 4. 常 議 員 | 20 名 |

第 32 條 常議員會ハ會長ニ於テ必要ト認メタルトキ又ハ常議員 6 名以上ヨリ會議ノ目的タル事項ヲ示シ請求アリタルトキ之ヲ開ク

第 41 條 昭和 11 年ノ通常總會ニ於テ決議シタル定款變更ニ基キ増員セラルベキ常議員 6 名ノ選舉ハ本定款及規則認可後 1 ヶ月以内ニ施行シ其結果ヲ土木學會誌ニ掲載シ總會ノ報告ニ代フルモノトス

第 42 條 選舉セラレタル 6 名ノ常議員中抽籤ヲ以テ定メタル 3 名ノ任期ヲ昭和 12 年ノ通常總會迄トシ常議員中ヨリ互選セラノベキ理事 6 名ノ任期亦同ジ

議案第 5 特定期間中入會金免除ノ件

「昭和 15 年 1 月 1 日ヨリ昭和 15 年 12 月 31 日迄ニ新ニ入會ヲ承認セラレタル會員、准員、學生員ニ對シ土木學會規則ノ規定ニ拘ラズ特ニ入會金ノ納付ヲ免除スルコトヲ得ルモノトス」

参考 土木學會定款及規則抜萃

定款 第 16 條 入會ノ承認ヲ得タル會員ハ土木學會規則ノ定ムル處ニヨリ入會金ヲ納付シ會費ヲ負擔スルモノトス

規則 第 3 條 會員トシテ入會承認ノ通知ヲ受ケタル者ハ所定ノ入會金ヲ拂込ムベシ
前項ノ入會金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ其氏名ヲ會員名簿ニ登錄ス

第 11 條 會員、准員及學生員ノ入會金ハ左ノ通りトス

- | | |
|----------|-------|
| 1. 會 員 | 金 5 圓 |
| 2. 准 員 | 金 3 圓 |
| 3. 學 生 員 | 金 1 圓 |

5. 昭和 14 年度土木賞牌を贈呈すべき優秀論文は會誌編輯委員會に於て選定の上常議員會に諮ることゝせり。

6. 土木學會規則第 5 章の部の改廢に關しては考慮することゝせり。

7. 高物價に據る職員臨時手當に就き協議したる結果何等かの形式に於て臨時手當を支給することに申合せり。

附：理事會開催前坂田技監を中心として滿洲國內に支部設置に關し懇談せり。

第 10 回常議員會 (昭. 14. 12. 26.)

出席者： 八田會長、堀越、谷口兩副會長、山崎、高橋(嘉)、和田、稻葉、伊藤、岡田、高橋(三)、瀧尾、百武、松田各常議員、中村書書長、小野寺庶務主任、朝倉會計主任

報 告

1. 東北支部に於て懸賞募集せる土木工事主題の藝術寫眞を本部内に掲げることゝせり。

2. 關西支部第 10 回役員會議事を報告せり。

3. 中部支部第 5 回役員會議事を報告せり。

4. 中部支部役員左の如く異動せり。

幹事長 退任 千田正重君 新任 比企野廣治君

幹 事 退任 大西英次君

新任 伊吹正紀君 小山清孝君

5. 入退會の件別紙(省略)の通り承認せり。

6. 第 4 回日本工學會大會に於ける土木學會懇親晩餐會を 4 月 4 日開催することゝせり。

7. 陸軍造兵廠大阪工廠播磨製造所へ土木學會誌を寄贈することゝせり。

議 事

1. 東北支部昭和 15 年度收支豫算を別紙(省略)の通り承認せり。

2. 西部支部昭和 15 年度收支豫算を別紙(省略)の通り承認せり。

3. 關西支部昭和 15 年度收支豫算を別紙(省略)の通り承認せり。

4. 本部昭和 15 年度收支豫算を別紙(省略)の通り承認せり。

5. 入會金免除の件理事會議事の通り決定せり。

6. 土木學會誌印刷料値上げの件を理事會議事の通り承認せり。

7. 常議員 4 名増員に伴ふ定款變更の件理事會議事の通り決定せり。

8. 大東京高速鐵道調査報告書の組版代支拂の件理事會議事の通り承認せり。

總 務 部 記 事

第 3 回記念事業資金調達委員會 (昭. 15. 1. 9.)

出席者： 辰馬委員長、阿曾沼、佐藤(忠)、鈴木、高橋(嘉)、高橋(基)、三浦、山崎、吉田、和田、鶴見(代菊田)各委員、堀越副會長、中村

書記長、小野寺庶務主任、朝倉會計主任
辰馬委員長より資金調達に関する経過報告あり、次で山崎理事の謝辞あり議事に移り別表(省略)の如く會長に資金調達の結果を報告することとせり。

調 査 部 記 事

杭の支持力公式調査委員会 (昭. 14. 12. 19.)

出席者: 青山委員長, 山口第一部主査, 西田第二部主査, 當山, 黒田, 綾, 片平, 各委員, 中村書記長, 小野寺庶務主任

議 事

1. 青山新委員長及西田新第二部主査より挨拶あり。
2. 小野寺庶務主任より経過報告。
3. 第一部會の今後の方針を下記の如く決議せり。
前回委員会までに蒐集、翻譯せる各國文獻を一應當山委員に一任し分類、選擇等の方針を研究し、次回委員会に於て、第一部各委員に分擔し、抄録をなす事。
4. 第二部會の今後の方針を下記の如く決議せり。
前回委員会までに蒐集せし調査表を、杭の材種、杭打機の種類、載荷試験の有無の三段に分類して表を作製し今後の取扱い方を考へる事とせり。これに就ては西田主査に一任する事とせり。
尙特殊杭は一應保留す。
5. 次回委員会に於て委員の補充を行ふ事とせり。

コンクリート調査委員会 (昭. 14. 12. 19.)

出席者: 吉田委員長, 安藝, 一木, 板倉, 内山, 内村, 黒澤, 坂元, 沼田, 吉田(朝)各委員, 寺西弘治君(菊池委員代理)

1. 吉田委員長より昭. 14. 12. 15. に開催したる試験方法統一に関する建築學會との聯合協會の結果につき報告あり。
2. 前回の委員会に引續き、各方面よりの意見に就き逐條審議を行ふ。

コンクリート調査委員会 (堰堤コンクリート示方書作製に関する小委員会) (昭. 14. 12. 20.)

出席者: 吉田(徳), 内村, 大石, 目黒, 黒澤, 内山, 島山, 一木, 伊藤, 佐藤, 近藤, 吉田(起), 新井, 山岡, 松岡, 福島(三島)(宮崎)

協議事項

1. 内務省、電氣廳、發送電にて作製せる原案により。次回委員会迄に目録(見本)を作製する事

2. セメントに関しては保留

3. その他の分は第 2 章第 2 條迄一應第 1 讀會を終了、更に術語に就ては追加する事

4. 次回昭. 15. 1. 11. 午後 5.30 より開催する事に決定せり。

東 亞 部 記 事

東亞調査委員会 (昭. 14. 12. 27.)

出席者: 中川委員長, 内田, 榎木兩委員, 谷口副會長, 山崎理事, 黒田勝夫君, 上ノ土實君, 奥田秋夫君, 中村書記長, 小野寺庶務主任
中川委員長より黒田, 上ノ土, 奥田の三君を紹介し次で黒田君より海南島, 汕頭等の港に就て、上ノ土君よりアフガニスタンに於ける土木施設に就て、奥田君より漢江附近を中心としての見聞談を聴せり。

關 西 支 部 記 事

第 10 回役員會 (昭. 14. 12. 15.)

出席者: 福留支部長, 荻野, 岩井, 稻浦, 泉谷, 三好, 鈴木(義), 鈴木(角), 石原, 川上, 林, 河原各商議員, 村上, 堀兩幹事

議 事

1. 昭和 14 年度事務會計報告
2. 昭和 15 年度事業計畫及豫算
3. 關西大會報告
4. 昭和 15 年 1 月總會の件
5. 昭和 15 年度役員選挙の件

日 本 工 學 會 記 事

昭和 14 年 12 月 19 日日本工學會臨時評議員會を開き一般會務の報告あり、次で下記事項を決議せり。

1. 本會社員入會申込に関する件
 2. 本會定款改正に関する件
 3. 本會規則改正に関する件
 4. 理事選出に関する覺書の件
 5. 社員總會特別決議に関する件
- 以上の外下記事項に就き懇談せり。

1. 工學用語集編纂の件
2. 紀元 2600 年記念式に參列方の件

そ の 他 記 事

昭和 15 年 1 月 20 日土木學會誌第 26 卷第 1 號を發行成規の手續を了し、全會員に配布せり。

入 會 及 轉 格 會 員

特 別 員 (入 會)

株式會社錢高組 錢高久吉君, 錢高輝之君, 伴 滿雄君, 藤阪拾治郎君
 橋本爲作君, 南野輝胤君, 遠藤 弘君
 釜山築港株式會社 池田佐忠君, 井山安藏君

2 級

會 員 (入 會)

內 山 孝 和 君 朝鮮鐵道局京城改良事務所
 兒 玉 實 君 關東州廳土木部計畫課
 佐 田 昌 夫 君 都市計畫新設地方委員會
 佐 藤 直 君 朝鮮鐵道局京城改良事務所

最勝寺一三君 朝鮮鐵道局
 靜 岡 六 郎 君 京都市電氣局工務課
 鈴 木 辰 雄 君 東京市水道局
 坪 井 透 君 朝鮮鐵道局江陵建設事務所

平 井 邦 次 君 朝鮮鐵道局京城改良事務所
 山 下 由 雄 君 奉天工務處水道科
 馬 淵 寅 雄 君 東京橫濱電鐵會社

准 員 (入 會)

青 木 正 一 君 滿鐵各道技術研究所
 朝 倉 次 郎 君 佐世保海軍建築部
 池 森 義 光 君 朝鮮總督府內務局土木課
 石 橋 一 之 君 日本經金團會社
 今 井 歸 一 君 朝鮮鐵道局建設課
 今 村 稷 君 朝鮮鐵道局建設課
 上 田 正 君 滿鐵吉林鐵道局工務課
 上 田 常 次 郎 君 多田部隊經理部工務科
 內 田 幸 兵 衛 君 朝鮮鐵道局建設課
 江 利 川 欣 也 君 ,, 改良課
 遠 藤 一 郎 君 ,, 平壤建設事務所
 尾 形 輝 一 君 岡田組北京支店
 尾 野 富 王 君 青森縣入戶土木出張所
 大 島 文 雄 君 朝鮮鐵道局改良課
 落 合 伊 作 君 朝鮮總督府內務局土木課
 梶 原 愛 雄 君 朝鮮鐵道局平壤建設事務所
 門 脇 茂 君 王子製紙株式會社
 金 子 溫 君 京都市水道局下水道課
 鎌 田 正 君 朝鮮鐵道局建設課
 鎌 田 千 代 士 君 ,, 改良課
 神 田 隆 君 京城公立職業學校
 神 田 和 一 君 朝鮮鐵道局平壤建設事務所
 河 村 晋 君 朝鮮鐵道局保線課
 菊 岡 武 男 君 農林省農務局耕地課
 菊 地 平 藏 君 朝鮮鐵道局改良課
 許 犂 山 君 ,, 建設課
 琴 東 用 君 ,, 江陵建設事務所
 久 保 裕 君 航空局技術部建設課
 倉 田 卯 市 君 京都市水道局下水道課

小 西 政 男 君 瀨島縣郡土木監督所
 小 林 與 三 郎 君 航空局技術部建設課
 小 林 淨 彦 君 朝鮮鐵道局建設課
 古 賀 留 次 君 ,, 改良課
 佐 藤 弘 毅 君 宮城縣電氣局
 佐 藤 忠 君 朝鮮鐵道局建設課
 佐 藤 信 次 郎 君 ,, 平壤建設事務所
 佐 藤 泰 一 君 ,, 建設課
 境 野 忠 重 君 王子製紙株式會社
 澤 七 郎 君 日本經金團會社
 志 田 正 重 君 ,,
 白 濱 義 光 君 株式會社 間組
 菅 井 捷 造 君 朝鮮鐵道局京城改良事務所
 鈴 木 壯 君 ,, 改良課
 田 島 吉 春 君 ,, 京城改良事務所
 田 代 英 記 君 瀨島電燈會社
 田 村 辰 雄 君 朝鮮鐵道局京城改良事務所
 高 橋 健 治 郎 君 大分縣竹田土木出張所
 高 橋 三 朗 君 滿洲交通部都邑計畫司
 高 橋 澄 一 君 朝鮮鐵道局改良課
 高 橋 忠 亮 君 ,, 建設課
 瀧 本 文 彌 君 ,, 改良課
 立 花 岩 藏 君 ,,
 丹 澤 嘉 治 君 ,, 建設課
 寺 田 正 弘 君 朝鮮鐵道局改良課
 南 保 久 男 君 ,, 保線課
 西 館 利 男 君 青森縣弘前土木出張所
 沼 江 恭 一 君 航空局技術部建設課
 野 田 收 君 朝鮮鐵道局建設課

野 々 上 功 君 朝鮮鐵道局江陵建設事務所
 廣 川 慶 三 君 華北交通會社
 廣 瀬 義 明 君 朝鮮鐵道局平壤建設事務所
 古 市 寬 君 佐世保海軍建築部
 堀 明 君 京都市水道局下水道課
 堀 田 丈 夫 君 南洋興發會社
 眞 庭 清 君 內務省神戸土木出張所
 松 井 三 郎 君 吉林會土木工務課
 松 崎 浩 君 朝鮮鐵道局建設課
 松 谷 逸 郎 君 京都府阿闍時土木事務所
 松 山 茂 樹 君 朝鮮鐵道局改良課
 水 谷 義 男 君 朝鮮鐵道局京城改良事務所
 武者 文 治 君 關東州工業土地會社
 村 田 茂 君 朝鮮鐵道局改良課
 森 眞 敏 君 電氣廳第一部技術課
 八 木 龜 助 君 內務省土木試驗所
 八 木 橋 雄 三 君 滿鐵哈爾濱鐵道局工務課
 安 野 樹 雄 君 內務省下關土木出張所
 柳 實 君 內務省神戸土木出張所
 柳 原 俊 市 君 朝鮮鐵道局建設課
 吉 澤 正 治 君 青森縣弘前土木出張所
 吉 澤 隆 幸 君 朝鮮鐵道局保線課
 吉 田 春 雄 君 ,, 建設課
 吉 松 紘 一 君 ,, 改良課
 李 種 樂 君 ,, 建設課
 和 田 順 一 君 ,,
 若 林 弘 之 君 株式會社 間組
 中 鉢 嘉 一 君 東北振興ハルブ會社
 古 館 政 義 君 株式會社鐵興社

學 生 員 (入 會)

淺谷正風君 日大専門部
 荒井敏君 “
 荒川馨斗君 “
 井上清六君 “
 犬塚四郎君 “
 小笠原知利君 興亜工學院
 小川健二君 “
 小野滿君 “
 小野峰男君 日大専門部
 岡野敬二君 興亜工學院
 加藤英精君 日大専門部
 梶浦保夫君 興亜工學院
 勝部泰次君 日大専門部
 鴨川齋君 興亜工學院
 川口浩司君 日大高工
 川崎良三君 日大専門部
 韓時潤君 興亜工學院
 韓齋百君 “
 北野敏雄君 “
 小林崇君 京都帝大
 小堀甚三郎君 興亜工學院
 郡山孝行君 “

佐々木茂三郎君 攻玉社高工
 佐藤榮君 興亜工學院
 佐藤光保君 “
 崔基旭君 “
 坂本神男君 東京高工
 清水密君 興亜工學院
 鹽原廣榮君 日滿立命館高工
 柴田均一君 興亜工學院
 莊司醇君 “
 白井與志美 東京高工
 關口傳作君 興亜工學院
 高野英二君 “
 千田裕一君 日大専門部
 董乘巖君 興亜工學院
 西窪忠勝君 神戸高工専修
 四村信雄君 日大専門部
 畑中宗一郎君 京都帝大
 濱中保三君 日大専門部
 濱野彌市君 興亜工學院
 日向幸吉君 “
 福井靖知君 東京高工
 星野國盛君 日大専門部

細井嘉治君 東京高工
 増田潤一君 興亜工學院
 丸尾廣二君 “
 水谷義郎君 日大工學部
 宮林彪君 “
 望月信平君 興亜工學院
 八板康秀君 “
 吉海正君 京都帝大
 李六奉君 興亜工學院
 力久昇君 日大専門部
 天川勉君 “
 川村繁治君 “
 清澤貞雄君 “
 久綱千之助君 “
 佐藤久君 “
 關川滋二君 “
 高橋三雄君 “
 時下頼夫君 日大工學部
 鍋木良一君 金澤高工
 林勇君 日大工學部
 呂圭瀧君 日滿立命館高工

會 員 (轉 格)

大上信雄君 朝鮮鐵道局改良課
 都志見克巳君 “ 釜山保線區

野上強四郎君 朝鮮鐵道局建設課

船橋貞一君 憲策殖産會社

准 員 (轉 格)

相本正君 日本製鐵會社

浦部千尋君 昭和製鋼所

小柳好雄君 合名會社小柳組

土 木 學 會 々 員 數

會 員	准 員	學 生 員	特 別 員	贊 助 員	合 計
3351	4350	1335	90	28	9154

會員 工學博士 關 信雄君昭和 15 年 1 月 7 日逝去せられたり、本會は靈前に弔詞を呈し恭しく哀悼の意を表したり

准員 清川吉雄君、平井 護君、藤原正明君の訃報に接す、本會は恭しく哀悼の意を表す